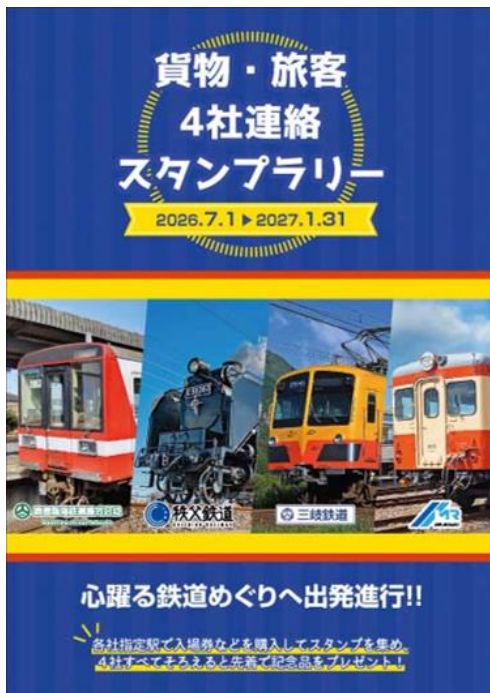


**秩父鉄道(埼玉) × 鹿島臨海鉄道(茨城) × 三岐鉄道(三重) × 水島臨海鉄道(岡山)**

**7/1~'27.1/31 貨物・旅客4社連絡スタンプラリー開催**

**スタンプを集めるとオリジナルスマホスタンドや4社の景品プレゼント**

秩父鉄道株式会社(本社:埼玉県熊谷市、代表取締役社長:牧野 英伸)では、鹿島臨海鉄道株式会社(本社:茨城県東茨城郡大洗町、代表取締役社長:高橋 秀仁)、三岐鉄道株式会社(本社:三重県四日市市、取締役社長:渡邊 一陽)、水島臨海鉄道株式会社(本社:岡山県倉敷市、代表取締役社長:伊東 香織)と連携して、2026年7月1日(水)~2027年1月31日(日)の期間に「貨物・旅客4社連絡スタンプラリー」を実施します。4社は、国内では数少ない旅客・貨物輸送の両方を行う私鉄です。一度に大量の貨物を輸送できCO2削減につながるなど、鉄道貨物輸送が環境負荷低減やSDGsに貢献する輸送モードであることを、広く一般の方々にも認知いただきご理解をいただくとともに、4社の魅力を楽しく巡りながら体感していただけるよう当企画を実施します。詳細は、下記のとおりです。



スタンプ帳 イメージ



スタンプ イメージ

#### 【貨物・旅客4社連絡スタンプラリーについて】

- (1) 開催期間 2026年7月1日(水) ~ 2027年1月31日(日)
- (2) スタンプ押印箇所 秩父鉄道: 秩父駅、鹿島臨海鉄道: 大洗駅(売店)、三岐鉄道: 東藤原駅、水島臨海鉄道: 倉敷市駅
- (3) スタンプ帳販売箇所 秩父鉄道: 秩父駅、鹿島臨海鉄道: 大洗駅(売店)、三岐鉄道: 近鉄富田駅(西口)、丹生川駅、東藤原駅、水島臨海鉄道: 倉敷市駅
- (4) 参加方法
  - ①スタンプ帳販売箇所でスタンプ帳(300円)を購入する
  - ②スタンプ押印箇所の入場券を購入する
  - ③スタンプ押印箇所でスタンプを押印する ※4社の順番は問いません。
  - ④全箇所のスタンプを集めるとスタンプ押印箇所で景品をプレゼント

- (5) 景 品 ①オリジナルスマホスタンド (先着 400 名様)  
 ②4 社いずれかの景品  
 秩父鉄道：オリジナルグッズセット、  
 鹿島臨海鉄道：オリジナルアクリルスタンド (KRD5 または KRD64)、  
 三岐鉄道：鉄道廃品、水島臨海鉄道：オリジナルグッズセット  
 ※最後にスタンプを集めて引換えをする会社の景品をプレゼントします。  
 先着人数は 4 社で異なります。
- ③三岐鉄道三岐線富田駅から東藤原駅間の貨物列車運転台添乗券 (片道・抽選で 1 名様)  
 ※各所での景品引換え時に抽選はがきを配布します。  
 貨物列車添乗券は事前に当選された方の身分証明書および承諾書が必要となります。  
 開催日程 (平日限定) や開催時間については相談となります。
- (6) そ の 他 スタンプ押印、スタンプ帳販売、景品引換は各駅窓口営業時間内に実施します。  
 営業時間や景品などの詳細は、4 社のホームページをご確認ください。
- 秩父鉄道 <https://www.chichibu-railway.co.jp/>
  - 鹿島臨海鉄道 <https://www.rintetsu.co.jp/>
  - 三岐鉄道 <https://sangirail.co.jp/>
  - 水島臨海鉄道 <https://www.mizurin.co.jp/>
- (7) ヘッドマーク 4 社の連携およびイベント PR のために 4 社の列車にヘッドマークを掲出します。
- 秩父鉄道 掲出車両：7800 系 1 編成  
 掲出期間：2026 年 7 月 1 日(水) ～ 2027 年 1 月 31 日(日)  
 ※掲出車両や掲出期間が急きょ変更になる場合があります。  
 ※運用などに関するご案内はできませんのであらかじめご了承ください。



オリジナルスマホスタンド イメージ



ヘッドマーク イメージ

### 【秩父鉄道について】

埼玉県北部を東西に横断し、熊谷を起点に東は羽生 (はにゅう)、西は埼玉県の代表的な観光地である長瀨 (ながとろ)、秩父を通り、三峰口 (みつみねぐち) まで、田園地帯や荒川、秩父の山々など総延長 70km 超の広大な自然の中を走る鉄道です。観光列車「SL パレオエクスプレス」も運行しています。

秩父鉄道で貨物輸送する石灰石は、叶山 (かのうやま) 鉦山 (群馬県) と三輪 (みのわ) 鉦山 (埼玉県秩父市) で採掘されます。叶山鉦山で採掘された石灰石は、ベルトコンベアで秩父太平洋セメント秩父工場へ運搬され、武州原谷 (ぶしゅうはらや) 駅で貨車に積み替え、貨物専用線の三ヶ尻 (みかじり) 線を経由して、太平洋セメント熊谷工場 (三ヶ尻駅) へ電気機関車で輸送しています。三輪鉦山で採掘された石灰石は、坑外にベルトコンベアにて運搬され、貨車に積み替え、影森駅や三ヶ尻線を経由して、太平洋セメント熊谷工場 (三ヶ尻駅) へ電気機関車で輸送しています。貨物列車 1 編成でおよそ 700t の輸送力があります。



秩父鉄道 イメージ

### 【鹿島臨海鉄道について】

鹿島臨海工業地帯の生産品および原料の輸送を主たる目的として、日本国有鉄道（現・JR 貨物）、茨城県、進出企業の共同出資により、1969年4月に設立、1970年11月から鹿島臨港線として営業を開始しました。コンテナ貨物の輸送を中心に鹿島臨海工業地帯の輸送動脈として地域の経済発展に寄与しています。

その後、かねて建設中の国鉄（現・JR 東日本）鹿島線水戸駅～北鹿島駅（現・鹿島サッカースタジアム駅）間を国鉄（現・JR 東日本）に代わって経営することとなり、1984年9月に地方鉄道事業免許を受け、1985年3月から大洗鹿島線として旅客営業を開始しました。普段は通勤・通学・お出かけに便利な列車、地域の公共交通として利用されています。



鹿島臨海鉄道 イメージ

### 【三岐鉄道について】

三重県北勢地方で三岐線（近鉄富田・JR 富田～西藤原 計 27.6km）と北勢線（西桑名～阿下喜（あげき） 20.4km）の2路線を営業し、地域に密着した交通機関として通勤・通学などに利用されているとともに、それぞれの路線がユニークな特徴を持っていることから、全国的にも注目を集めています。

三岐線では、東藤原駅にある太平洋セメント藤原工場から、粉体セメントを四日市港まで貨車輸送を行い、貨物船により各地へ出荷しています。また、炭酸カルシウムを愛知県の碧南火力発電所まで貨車輸送し、環境改善に使用されます。さらに発電所で発生する石炭灰を同じ貨車に積み、同じ経路で藤原工場まで輸送し、セメント改良剤として使用されます。貨物列車1編成でおよそ500～640tの輸送力があります。



三岐鉄道 イメージ

## 【水島臨海鉄道について】

美観地区で知られる岡山県倉敷市中心街と水島臨海工業地帯を結ぶ、旅客と貨物の輸送を担う鉄道として 1943 年に旧三菱重工水島航空機製作所の手で開業されました。戦後、倉敷市交通局が運営する公営鉄道となり、1970 年に国鉄（現・JR 貨物）、岡山県、倉敷市などの出資により第 3 セクター形式の企業として設立されました。倉敷市の中心部と水島地域を約 20 分間で結ぶ公共交通機関として旅客営業を行うほか、東水島駅を拠点とした鉄道コンテナ輸送を中心に貨物営業を展開しています。



水島臨海鉄道 イメージ

※記載内容は急きょ変更または中止になる場合があります。

※各種なくなり次第終了です。

※記載金額は全て税込です。

### ◆このイベントのお問合せ

秩父鉄道株式会社 鉄道事業本部 運輸部 運輸課 TEL048-523-3313（平日 9：00～17：00）

### ◇この資料に関するお問合せ

秩父鉄道株式会社 総務部 総務課 中澤 TEL048-523-3311（平日 9：00～17：00）